

平成 2 6 年度

第 3 回 八代市地域公共交通会議 会議録

平成 2 6 年 1 0 月 2 9 日作成

八代市地域公共交通会議 会長 永原 辰秋

【日 時】 平成26年10月17日（金） 14時～15時30分

【場 所】 八代市役所 大会議室A

【出席者】 23名 (敬称略)

区分	団体・役職	氏名
会長	八代市 副市長	永原 辰秋
委員	産交バス（株）八代営業所長	谷本 正己
委員	（社）熊本県タクシー協会 専務理事	吉田 光義 代理：片岡正和
委員	八代市タクシー協会 会長	神園 喜八郎
委員	八代市身体障害者福祉協議会 会長	渡瀬 隆
委員	八代市地域婦人会連絡協議会 会長	堀田 陽子 代理：森下貴美子
委員	八代市老人クラブ連合会 会長	米田 常男
委員	坂本地域 代表	谷口 信吾
委員	千丁地域 代表	上 五雄
委員	鏡地域 代表	堀 明
委員	東陽地域 代表	後村 新一
委員	泉 地域 代表	松永 松喜
委員	九州運輸局熊本運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送・監査担当）	牛島 光英
委員	九州運輸局熊本運輸支局 首席運輸企画専門官（企画調整担当）	松野 完治
委員	全九州産業交通労働組合 書記長	貢 博之
委員	熊本県県南広域本部 八代地域振興局 維持管理課長	高木 剛生
委員	八代市 土木管理課長	鶴山 信一
委員	八代警察署 交通第一課長	堤 信二
委員	氷川警察署 地域交通課長	丸山 博一
委員	熊本県立大学 環境共生学部 居住環境学科 准教授	柴田 祐
委員	熊本県 企画振興部 審議員	財津 和宏 代理：中島一哉
委員	氷川町 総務課長	陳野 信次
委員	八代市 企画振興部長	坂本 正治

【欠席者】 5名 (敬称略)

区分	団体・役職	氏名
委員	（株）麻生交通 代表取締役	麻生 伸一
委員	（社）熊本県バス協会 専務理事	新居 唯一
委員	八代地域 代表	徳田 武治
委員	国土交通省九州地方整備局 熊本河川川国道事務所 八代維持出張所 所長	山下 正昭
委員	八代校長会 麦島小学校校長	泉 正章

【事務局】 企画振興部 次長 丸山 智子
企画政策課 課長 宮川 武晴
企画政策課 課長補佐 梅野 展文
企画政策課 係長 草西 亮介
企画政策課 主任 坂本 友和

【議題】 ◆報告事項

【資料】 1. 地域公共交通調査事業の経過報告について
・業務の進め方とこれまでの経過報告
・各種調査結果についての報告
・公共交通の問題点・課題の報告

【以上、資料1】

【資料1（別紙）八代市の公共交通に関するアンケート調査】

◆協議事項

1. 八代市地域公共交通網形成計画の策定方針（案）について
 - (1) 八代市地域公共交通網形成計画策定の視点
 - (2) 地域公共交通のあり方の方針
 - (3) 取り組みの方向性
2. 分科会の設置（案）について
3. 今後の検討の進め方について

【以上、資料2】

【資料2（別紙）八代市地域公共交通会議 分科会名簿（案）】

【公開状況】 公開

【傍聴者数】 0名

【所管課】 企画政策課 企画係 （内線2263）

【発言要旨】

◆報告事項 ※一括説明（委託事業者である(株)KCSが説明）

・業務の進め方とこれまでの経過報告について

<事務局説明概要>

- ・これまで、地域の特性、公共交通の現状、市民アンケートによる市民の移動特性と公共交通に対する意向について把握を行ってきている。これらの現状把握から、八代市における公共交通の問題点・課題を整理してきている。
- ・また、公共交通の問題点・課題に市の上位計画及び関連計画を踏まえ、八代市の公共交通のあり方を検討してきている。

・各種調査結果の報告について

＜事務局説明概要＞

- ・地域特性については、人口、主要施設の分布状況、人の移動特性の現状を説明した。
- ・公共交通の現状については、公共交通ネットワークと全体の利用者数及び財政負担状況を説明した。
- ・市民アンケート調査結果については、回答者の外出行動の特性、公共交通の利用状況、今後の公共交通のあり方に対する意向を説明した。

・公共交通の問題点・課題について

＜事務局説明概要＞

- ・八代市の公共交通の問題点・課題は、路線バスに関する事項として4点、乗合タクシーに関する事項として2点、乗り継ぎに関する事項として2点、公共交通不便地域に関する事項として2点、計10点を説明した。

＜発言要旨＞※一括質疑

委員A：市民アンケートの回収率 36.6%は一般的な調査と比べて高い値なのか、それとも低い値なのか。

（株）KCS：配布票数が多くなればなるほど低くなるものであって、今回は配布票数 3600 票である中で、36.6%というのは高いと判断している。

委員B：地域毎の回収率はいくらであったのか。つまり、地域毎の偏りが結果として出てきているのではないか。

（株）KCS：今回の調査では、地域毎の人口比を考慮して配布票数を調整しているほか、市全体の集計については地域毎に係数を掛けて各地域の意見が均等になるように調整している。

委員C：公共交通を利用しない理由の回答のうち、「そもそも公共交通を利用しようと考えたことがない」という回答を地域別などで細かく分析していくことで、今後の検討課題が見えてくるのではないか。これまでの分析でやっていけばその結果を、やっていなければ今後の予定を教えてほしい。

（株）KCS：本アンケートでは、自家用車があるから公共交通を利用しないという選択肢は、選択肢に設ければそれに集中することが考えられるため除外している。また、その他を選択肢に設けて具体的に把握しており、身体上の理由から公共交通を利用することができない、子ども連れでは利用しにくいといった意見を確認している。

委員C：五家荘での問題点や平野部での問題点など地域別に問題点が異なってきたようなので、分析についても地域別に進めていってほしい。また、今後の公共交通のあり方

についての意向についても、地域別に意見の質が異なると思われるので、地域別の分析を進めるようにしてほしい。

㈱KCS：了解した。

会 長：移動特性では、市内への通勤・通学の割合がかなり高くなっているが、市民アンケート調査では市外への外出と思われるJRが最も多くなっている。これらの関連性について教えてほしい。

㈱KCS：公共交通を利用するときはJRを使って市外に外出しているというのが八代市民の移動特性である。移動特性の分析結果は、公共交通に限らず全移動手段を対象に尋ねたものである。

※その他意見無し

(2) 協議事項

1. 八代市地域公共交通網形成計画の策定方針（案）について

<事務局説明概要>

(1) 八代市地域公共交通網形成計画策定の視点

- ・地域公共交通を取り巻く現状と地域公共交通に求められる役割といった社会背景について説明した。
- ・社会背景を踏まえた上での国の施策の動向として、交通政策基本法と地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律（改正活性化再生法）の概要について説明した。

(2) 地域公共交通のあり方の方針

- ・地域が目指す将来像は、八代市総合計画で掲げている「やすらぎと活力にみちた魅力かがやく元気都市“やつしろ”」とする。
- ・公共交通に求められる役割は、各関連計画で記載されている公共交通に期待される役割と公共交通に関連する施策とする。
- ・八代市における公共交通のあり方は、将来像に向け、地域特性や公共交通に求められる役割を踏まえ、以下の4つの基本方針からなる目標「市民の生活を支える、多様な移動ニーズに対応した公共交通」とする。

基本方針①：地域特性や位置づけに応じた公共交通

基本方針②：拠点の機能を維持・強化する公共交通

基本方針③：拠点間の連携を強化し、交流を促進する公共交通

基本方針④：地域づくりの“土台”となる持続可能な公共交通

(3) 取り組みの方向性

- ・公共交通のあり方と、公共交通の問題点・課題を踏まえ、取り組みの方向性を以下の6項目を位置付ける。
 - 方向性①：公共交通の利用需要とサービス水準のバランスの改善
 - 方向性②：移動ニーズを踏まえた利便性の向上
 - 方向性③：公共交通不便地域への対応
 - 方向性④：交通結節点における乗り継ぎ利便性の向上

方向性⑤：公平性にも配慮した運賃設定の見直し

方向性⑥：地域が一丸となって公共交通を支える仕組みづくり

- ・本市における公共交通不便地域の定義を以下の通りとする。
「鉄道駅から半径 1km、バス停・乗合タクシー停留所から半径 500m の範囲から外れており、かつ、500m メッシュ人口（H22 国勢調査）が 1 人以上のエリア」
- ・公共交通不便地域への対応の基本的な考え方を以下の通りとする。
 - ・平野部では、特に人口集積が顕著なエリアについて優先的に対応を検討していき、その他のエリアでは地域の要望を受けて順次対応を検討していく。
 - ・山間地で人口集積がみられるエリアでは、地域の要望を受けて順次対応を検討していく。また、公共交通不便地域が広く薄く広がる五家荘地区では、生活を支える基本的な移動手段の提供を検討していく。
- ・平野部で、特に人口集積が顕著なエリアというのは、以下の通り設定する。また、優先検討エリアについては、公共交通サービスの確保に対するニーズが確認されたエリアに対して検討していくこととする。
「500m メッシュ人口 250 人（人口密度 1000 人/km²）」

< 発言要旨 >

会長：運輸支局の方から補足等があればお願いします。

松野委員：今回の改正活性化再生法は、行政や事業者だけではなく、地域や市民の協力をもって計画を進めていくことがポイントとなっている。そのため、形成計画の策定にあたってはこの点を十分に議論していき盛り込んでいく必要がある。また、目指すべきまちの姿に向かって、交通の切り口から計画を策定するという位置づけや、交通のみならず、商工や福祉、教育といった様々な視点からも計画を策定するというプロセスを踏んでほしい。

委員 C：計画の目標年次は設定されているのか。

事務局：5 年計画である。

委員 D：5 年計画の中で、中間年度や最終年度での目標といった設定は考えられているのか。

事務局：5 年後の目標実現のための指標を設定し、中長期的にはその指標の達成のために取り組んでいく予定である。

委員 E：地域公共交通会議、または分科会での議論の内容は、5 年後の目指すべき姿の設定によって取り組みの内容が大きく異なってくると思われるため、その設定について示した上で議論を展開して行ってほしい。

事務局：今年度ではまず現状で整理している問題点や課題についての取り組みを進めていきたい。その後、将来像に向けた更なる取り組みについて、地域公共交通会議に諮りながら進

めていきたいと考えている。

委員C：基本スタンス及び取り組みの方向性に、まちづくりの視点も加えるべき。

事務局：公共交通のあり方にはまちづくりの視点等を考慮してはいるので、これを基本スタンスや取り組みの方向性にも反映していきたい。

※その他意見無し

取り組みの基本スタンス及び方向性にまちづくりの視点を加筆した上で、原案を可決
--

2. 分科会の設置（案）について

<事務局説明概要>

- ・地域の実情等を踏まえ、きめ細かな検討を行うための分科会を設置する。
- ・分科会は、公共交通ネットワーク分科会と、乗合タクシー分科会を設置する。
- ・公共交通ネットワーク分科会では、路線バスの再編、乗り継ぎ、公共交通不便地域対策などについて対応方針及び施策の検討を行う。
- ・乗合タクシー分科会では、現在運行している3地域の中で、利用が著しく多い、または少ない路線や便などについて対応方針や施策の検討を行う。
- ・構成メンバーは、資料2（別紙）の通りとする。

<発言要旨>

委員F：各地域への意向確認や調査はどの様に考えているのか。地域委員が動く必要があるのか。

事務局：詳細は今後詰めていく必要があるが、事務局が各地域の意向を確認する、場合によっては地域住民に集まっていたくことを想定している。

※その他意見無し

原案のとおり可決

3. 今後の検討の進め方について

<事務局説明概要>

- ・今後、施策検討に向けた情報収集として、分科会の開催や、住民懇談会の開催、バス利用者聞き取り調査、高校・企業等アンケート調査を実施していく予定である。
- ・その後、具体的な施策展開についての検討、総合的計画の検討を進めていく。
- ・11月上旬には第1回分科会を行い、次回の地域公共交通会議は12

月末を予定している。

< 発言要旨 >

委員 D：次回公共交通会議で提出される計画の素案については、5年後の目標達成に向けた青写真、つまり指標やその数値なども示していただきたい。

事務局：了解した。

※その他意見無し

原案のとおり可決

< その他 >

谷本委員：報告で指摘のあった労災病院バス停での路線図の掲示については検討したい。また、各 JR 駅との接続について、JR からバスへの乗り継ぎについても検討していきたい。それから、バス停等の改善については、バス事業者だけではできない部分も多いので、会議出席者の協力をお願いしたい。

【審議結果】

協議事項

1. 八代市地域公共交通網形成計画の策定方針（案）については、取り組みの基本スタンス及び方向性にまちづくりの視点を加筆した上で、原案を可決。
2. 分科会の設置（案）については、原案のとおり可決。
3. 今後の検討の進め方については、原案のとおり可決。